

## IMAGINE ROTARY

イマジン ローターリー

2022～23 年度年度

国際ローターリー会長 Jennifer E.Jones



## 東京麹町ローターリークラブ

### 本日の例会プログラム

第2回例会 2022.7.11 (#2349)

例会ホスト・紹介係 荒川君 会費係 秋山君  
受付係 守屋君 末竹君  
司会者 保科君 ソングリーダー 藤谷君

### 卓話「委員長挨拶」

木寅職業奉仕委員長・飯嶋社会奉仕委員長  
吉田国際奉仕委員長・内田青少年委員長  
藤田プログラム委員長

### 前回の報告

第1回例会 2022.7.4 (#2348)

例会ホスト・紹介係 鈴木君 会費係 木寅君  
受付係 新保君 吉田君  
司会者 保科君 ソングリーダー 藤谷君

### 卓話「三役就任挨拶」

浅野会長・齊藤副会長・加賀幹事

### 会長報告

- 1) 第55期のスタートです。1年間宜しくお願いいたします。
- 2) 新年度早々に、新しいお仲間の紹介です。5月オープン例会で入会をお決めいただきました。保科会員紹介の金子修様。私の紹介で羽田泉澄様 よろしくお願いいたします。
- 3) 前期発足した、ローターアクトクラブとスターローターリー衛星クラブのチャーターナイトを8月28日(日)にここオータニ「鳳凰の間」にて開催する運びとなりました。スポンサークラブとして、御協力をおねがい致します。スターローターリー衛星クラブのゴン議長が出席です。
- 4) ローターリー財団より、寄付への御礼が届いております。年間の寄付やウクライナへの寄付が累計されています。  
ピン7:地引会員 ピン2:荒川会員 ピン1:福田会員

### 幹事報告

- 1) 今期1年、よろしくお願い申し上げます。
- 2) 年間行事予定表を配布いたしました。今後、変更もありますが宜しくお願いいたします。8月はガバナー 公式訪問やチャーターナイトがあり、夏休みも重なり、変則的です。宜しくお願い致します。
- 3) 例会に終了後に、定例会理事会を開催いたします。該当の方はお残り下さい。

### 例会記録

会員総数 44名 出席会員数 26名  
ゲスト 0名 オンライン参加 3名  
ビジター 0名 その他 0名  
海外ビジター 0名 事務局 1名

### ニコニコボックス

木元会員:浅野会長・加賀幹事 1年間宜しくお願いします。  
中谷会員:若林さんをはじめ皆様ご苦労様でした。  
金田会員:浅野会長・加賀幹事宜しくお願いします。  
若林会員:浅野会長・加賀幹事宜しく。  
須藤会員:崎山さんをはじめ H ニューオータニの皆様にお世話になりました。  
荘村会員:1年間ありがとうございました。浅野会長・加賀幹事1年間宜しくお願いします。  
浅野会員:1年間宜しくお願い致します。  
齊藤会員:副会長に就任。1年間宜しく

### 次回予告

第2回例会 2022.7.25 (#2350)

会場:舞の間  
例会ホスト・紹介係 山田君  
会費係 地引君  
受付係 山本君 細谷君  
司会者 保科君  
ソングリーダー 藤谷君

### 卓話「委員長挨拶」

保科会員増強委員長・佐藤会員選考委員長  
吉沢会報雑誌委員長・荘村親睦委員長  
荒川R情報委員長・鈴木健康管理委員長



## 人気をなくした国家公務員キャリア職

経済ジャーナリスト 中西 享氏(4/18卓話 紹介者 新保会員)



中央官庁の幹部候補職員を指す国家公務員キャリア職は、志願者数がここ数年ずっと減り続けています。2021年度は過去最少となり、一言でいえば人気

を落としています。このことは国の政策立案に対する魅力がなくなっていることを示していると思います。

加えて、辞める人も非常に多いのです。特に30代ぐらいの人がどんどん辞めています。国政を担うべく期待されていた人がどんどん辞めているのはどういうことなのでしょう。

先週金曜日に発表された2022年度の国家公務員採用総合職試験の申込者数は、大卒程度試験が1万3674人で、前年度比6.8%の増加に転じました。大学院卒は1656人で、こちらも前年度比9.6%増えました。人事院によると、6年ぶりの増加です。特に女性の割合は41.2%と過去最高で、ここ数年大きくなっています。

今年度の特徴として、人事院総裁に昨年就任した川本裕子さんが、国家公務員志願者の減少に歯止めをかけるため、試験に「デジタル区分」を新設しました。しかし、人事院だけで取り組んでいても志願者減の大きな流れは変わらないと思うので、岸田内閣全体でキャリア職の魅力回復に取り組む必要があるでしょう。

少し前までキャリア職の合格者は東京大学出身者が圧倒的に多かったのですが、2000年ごろから徐々に割合が減っており、4位の岡山大学など地方大学の躍進が目立っています。理由はいろいろな見方があるのですが、よくいわれるのは残業の多さです。中でも代表的なのは国会対応で、答弁書を作らないといけないうし、国会中継を見ても答弁席に膨大な資料が積み上がっていると思いますが、あれをコピーするだけでも大変です。

それから、役所の不祥事が多く、マスコミにひどく叩かれていることも理由として挙げられます。若い人からすれば、あんなにバッシングされる所には行きたくないと思うのでしよう。

そして、入省の魅力がなくなった最大の理由は何かというとう、実際の政策立案は30代半ばの課長補佐クラスが行うのですが、特に安倍政権あたりから、いわゆる政治主導、官邸主導が非常に強まったことが挙げられます。若手が政策を立案しても、官邸でノーといわれる場合が多いのです。実際に決めているのは首相補佐官クラスであり、安倍・菅政権のときは首相補佐官が政策決定をかなり牛耳っていたといわれています。そうしたことが続けば、やはり村度しないと駄目かなと思うようになって、国民が望むような政策が実現できなくなります。

記憶に新しいところでは、コロナで学校が一斉休業になったことがありました。当時の萩生田文部科学大臣も知らない間に、首相補佐官の思いつきで一斉休業が安倍首相に提案されました。これには文科省も非常に驚きましたし、世の中の的にも非常に問題となりました。最悪のケースはアベノマスクで、補佐官クラスが急に思いついて配布したのですが、ほとんど使われることはありませんでした。そうしたことが続けば若手官僚もやる気をなくし、最終的に辞めていってしまいます。こうして国家公務員の志願者が減り、辞めてしまう若手が増えれば、政策立案はなおざりにされ、ゆくゆくは官僚の劣化につながり、国力低下に結び付くと思うのです。

先ほどキャリア職の合格者数は岡山大学が多いという話をしました。それは受験対策が功を奏しているからなのですが、実際に採用される数は少なく、東大生のシェアがいまだに高いです。地方の学生は合格しても周りが東大生ばかりだとなかなか出世できないと考え、自己抑制のようなものが働くのでしょう。岡山大学では国家公務員試験に受かったという実績を引っ提げて、県庁や岡山市役所に入る人が多いそうです。つまり、力試しで上級試験を受けているという実態があります。東大生をはねのけて頑張ろうという学生があまりいないのです。早稲田大学の学生も結構受かっているのですが、キャリア職にならずに都庁に行く人が多いそうです。都庁に入れば出世もしやすいし、霞が関ほど残業がきつくないからだと聞きます。

キャリア官僚の志願者が減って、辞める人が多いのは非常にゆゆしき事態ですので、なるべく早く改めるべきだと考えています。

### クラブだより No.2

『多数ご参加下さい』

#### 炉辺会

8月1日(月) 18:00~

@すきやき「とみたや」

久しぶりの開催です。

入会の浅い方は、是非ご参加ください。



### 東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204号
		TEL:03-3263-9220
会長	浅野 泰弘	FAX:03-3263-9122
幹事	加賀 聡	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	吉沢 京子	URL: www.koujimachi-rc.jp